

特集

「小5 統一合判」²

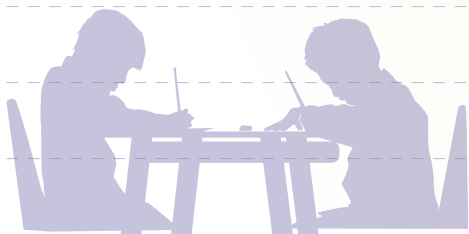
中学入試レポート vol.

学校へ行こう。

～学校の個性を、
見て、聞いて、感じよう～

秋は学校説明会などの公開行事が数多く開催されます。6年生になると時間が限られてきますので、5年生のうちから、できるだけ多くの学校に足を運んでおきましょう。

7月の本誌では、小学生の進路選択や学校の体制、成り立ちの違いや特徴を見てきました。今回は、実際に学校へ足を運ぶ際に意識しておきたいことや、アンテナの立て方を考えていきましょう。



校舎見学にも参加すると、学校のカラーが見えてくる（写真は●富士見）。

首都圏模試センター

行きたい、行かせたい学校の選択肢は広く持とう。併願を考えるときまでにやっておきたいこと

9月になりました。最近では、年間を通して学校を訪れることのできる機会も増えていますが、学校説明会や文化祭等の公開行事が数多く開催されるのは、これからの季節です。5年生のうちできるだけ学校に足を運ぶことをお勧めします。

首都圏の中学入試の平均併願校数は約6.5校。6年生になって、いざ受験校を考え、併願を組んでいこうとしたときから学校を訪れ始めるのでは、時間が少なくチャンスも限られてしまいます。様々な学校を訪れることで、行きたい、行かせたい併願の軸となる学校や、その選択肢を多く持つことはとても大切です。お子さまに、どのような中高時代を送って欲しいと願うのかをはっきりとさせ、合格だけをゴールとしない、血の通った受験のために、ぜひ学校へ行っていただきたいと思います。



● 芝浦工大附属のロボット技術室。

「人」を育てたい、私学の願い

様々な背景を持って生まれた私学ですが、共通するのは、「建学の精神を持つ」ということ。

創立者の願いをどのように“現在化”し、具体的な教育を行なっているか、それを見極めることが、学校選びの原点と言えるでしょう。

新しいお札の顔となる津田梅子。日本の女子高等教育(大学)において高い評価を受ける津田塾大学を創立したことで知られます。福沢諭吉、大隈重信、成瀬仁蔵は言うに及ばず、明治という新しい時代を迎えた時期、教育の大切さに気づいた先達により多くの私立学校が生まれました。●山脇学園の初代校長山脇房子は、下田歌子、鳩山春子らとともに結成した「大日本婦人教育会」の活動はじめ、女性の地位向上に尽力した女性。下田歌子は●実践女子学園の創立者。また鳩山春子は、●共立女子学園の前身である共立女子専門学校を設立。●女子学院初代院長矢嶋楯子は、日本初の女性団体「日本基督教婦人矯風会」の創始者の一人でもあります。これらの学校の創立者や草創期に学園を支えた人々の思いは、女子校として女子教育に邁進する今に連綿と引き継がれています。

女子校のことばかりになりましたが、明治から大正時代にかけて創立された多くの私学が、男子校、女子校という別学で始まったのです。時代を反映して裁縫や商業系の学校として誕生した女学校も、社会の変化に伴い、高等教育(大学)へつながる教育を行う学校へ変わっています。性別を超えた働き方、生き方が広く認められつつある現在、別学の意義も変化していると言えます。それでもなお男子だから、女子だから、という決めつけから解放され、興味関心に素直に向き合えるのは、別学の変わらぬ大きな魅力です。

明治の初め、現在の中央区明石町(築地鉄砲洲)には、外国人居留地が設けられ、宣教師や教師たちによって多くの教会や学校が開かれました。●立教女学院、●暁星学園、○明治学院、

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、○=共学校



●女子聖学院、◎青山学院、●雙葉学園、◎東京中学院（関東学院の源流）などのキリスト教主義の学校の発祥の地として知られ、記念碑が往時をしのばせます。キリスト教主義の学校が外国語教育や国際理解教育に強みを発揮する特徴は、このルーツからつながっていると言えるでしょう。

「セメント王」とも呼ばれた実業家の浅野総一郎は科学技術と語学教育の必要性を感じ、浅野総合中学校（現●浅野学園）を設立。やはり実業の世界にあり教育の大切さを感じていた森村市左衛門（ノリタケなどが構成する森村グループの創始者）は、現在の◎森村学園の礎を作りました。社会に有為な人材を育成という理念を、それぞれの形で追求しています。●東京女学館の創立には足沢栄一も名を連ねていますが、アメリカ研修のジョブシャドウイング（アメリカ人女性に一日中、影のように同行するプログラム）が実現できるのは、創立以来引き継がれて来た人脈のおかげという一面もあります。帰国生が学ぶ場として生まれた◎啓明学園、東急グループ・五島育英会による学校（●東京都市大学付属、◎東京都市大学等々力）など、企業人発の学校も少なくありません。

大きく時代をさかのぼれば僧侶養成と徒弟教育の機関を前身に持つ学校もあります。●芝学園や●世田谷学園などの仏教系の学校は、人間教育にそのルーツの存在を色濃く伺わせます。芝学園の「共生（とも生き）」という考え方は、まさにその一例と言えます。

もちろん新しい時代にも、これからの世界で活躍する人材の育成を目標に掲げる学校が生まれてきました。ノブレスオブリージュを掲げ、子どもたちを「未来からの留学生である」とする◎渋谷教育学園幕張、◎渋谷教育学園渋谷も、時代の先頭を切って走る学校と言えるでしょう。



築地にある●曉星学園発祥の地記念碑。

今に息づく教育理念

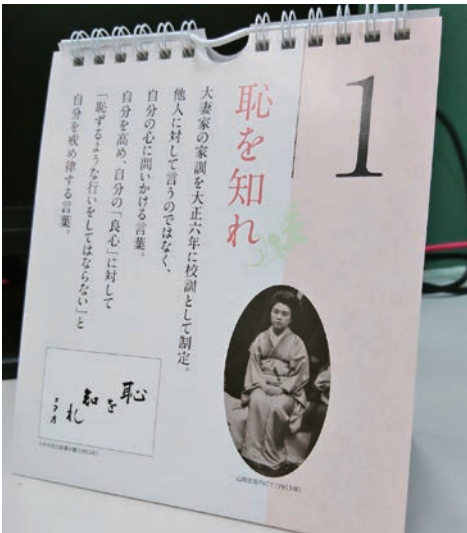
校訓や教育理念を、今の時代に合わせわかりやすく言い換えている学校もあります。

●足立学園は「質実剛健 有為敢闘」を校訓としてきましたが、およそ30年前に「自ら学び 心ゆたかに たくましく」と、わかりやすい言葉で表しました。この足立学園は、昭和4年に地域の有志が地域の子弟のための学校として創立し、現在も地域で愛されています。日ごろから地域の防犯活動に貢献しており、千住警察署より表彰されたのも、同校らしいニュースでした。

●世田谷学園は、人は自分もまわりの全ての人も尊い存在であるという釈尊の言葉「天上天下唯我独尊」を、「Think & Share」と世界に通じるように英訳しています。

さて、次にあげる校訓、教育理念を掲げる学校はどこでしょうか。創立時の願いや、それがどのように現在の教育とつながっているかを実感しに学校へ足を運んで、校風を感じてみましょう。答えは本文最後をご覧ください。

- (い) 怒るな 働け
- (ろ) 恥を知れ
- (は) 青年即未来
- (に) 知好楽
- (ほ) ヒューマニズム
- (へ) 遵法自治
- (と) for others
- (ち) 徳においては純真に 義務においては堅実に
- (り) 順天求合



●大妻の創立者、大妻コタカの言葉を集めた「日めくり」。心にしみる言葉に日々励まされる。

在はどのような教育を行っているかを見てください。また、いうまでもなく偏差値や大学合格実績というものさしだけでは、学校の真価は測れません。中高時代に、何を経験するか、どのような出会いがあるか。「学校歴」ではなく「学習歴」が人間としての幅を広げてくれることでしよう。

「あまり学校を知らない」、「学校へ行っても何を聞いたら良いかわからない」という声もお聞きします。

学校施設を見てみよう、制服を見てみよう、校長先生はどんなお話をされるのだろうか、通学経路を見てみよう、どんな部活動があるのだろうか、そこから始めてみるのもいいかもしれません。この学校のことをもっと知りたくなったり、同じ教科でも学校ごとの違いを意識したり興味湧いたりするところが、深く掘り下げたい端緒になっていくこともあります。

冒頭で述べたように、6年生になって具体的に併願校を決めていく段階で、お子さまに合う学校、行かせたい学校が見つっていると、併願作戦や進学校決定がスムーズに進みます。教育理念、施設、通学時間、クラブ活動、研修、学費、奨学金や特待生制度など、カレンダーアプリでも手書きでも、それぞれのご家庭で使いやすいものを利用して、情報を整理しておきたいものです。一緒に行けばその日のうちに感想を話し合ったり、一緒に行けなければ様子を伝えてシェアしたりしておくことをお勧めします。

なお行事には予約が必要なものや対象学年が決まっているものもあります。開催曜日や時間も多様になっています。首都圏模試センターのサイト(学校情報>学校説明会・行事日程)や、各都県の私学協会のサイトのカレンダー機能などで検索するのも便利です。

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、○=共学校

学校へ行こう

実際に学校説明会などの話から、どのような情報を得ることができるでしょうか。

動画やSNSという、普段の学校生活や生徒の活躍、行事を知るツールも便利ですが、それらを活用しながらも学校説明会などで実際に学校の空気を吸い、温度を肌で感じることも大切です。

学校は生きています。もし、これから行ってみようと思っている学校に昔のイメージが残っているのであれば、まずは先入観を捨てて、現



校舎の中に身を置いてみる

校舎などの施設からも、学校の教育理念が伺えることがあります。

例えば図書館。図書の貸し出しや自習室として機能するだけでなく、調べ学習や教科横断型の授業、キャリア教育と連携した活動の場という顔を持つ学校もあります。蔵書や書架にも個性が現れるものです。

●晃華学園の「図書情報センター」は、洋書の蔵書や教員による本や関連資料の展示など、知的好奇心をくすぐります。●トキワ松学園では、「思考と表現」の授業は司書教諭が担当し、図書室で行われています。●実践女子学園の図書館の一面にはプレゼンテーションピットが設けられ、様々に活用されています。●麻布の図書館は100周年記念館の2階と3階にあります。高価な美術書や大型地図などが開架で解放されており、知の宝庫の趣。

生徒が積極的に質問や相談に来られるような工夫をしている学校もあります。◎淑徳では、職員室前の壁は一面ガラス張りの黒板で、書かれた数式などから活発なやりとりがうかがえます。◎文化学園杉並の「Play Labo」、◎ドルトン東京学園の、机・椅子のない半円形の「教室315」、●和洋九段女子や●聖学院の「フュー



◎ドルトン東京の「教室315」。これも教室だ。

チャーラーム」など、従来の教室のイメージとは全く異なる空間では、主体的で自由な発想を導く授業が行われています。

校舎全体の考え方に、教科センター方式という形態があります。生徒がホームルームから授業毎に教科教室へ移動して授業を受けるというものです。●カリタス女子や◎鶴見大学附属、◎青山学院はこの形です。生徒が、先生がくるのを待つのではなく自ら移動することで、主体的な授業参加の姿勢につながります。カリタス女子では、校舎の中心にホールと図書館があり、社会科ゾーンでは日本全国のご当地キティがディスプレイされていたり、フランス語ゾーンにはフランス語の本やポスターが置かれていたり、教科毎に生徒の興味を引き出す工夫が施されています。

学校を見学する際に、ハード面だけでなく廊下の掲示物にも目をやると、学校生活が垣間見えるときがあります。以前、●桐朋の廊下で、芸能人の似顔絵に決め台詞「端っこ歩きなさいよ」が書き添えられたポスターを、食堂で「上げよう成績、下げよう御膳」と書かれたポスターを見たことがあります。ユーモアを交えた“作品”に思わず笑みがこぼれたものです。同校では今年、中学2年で任意参加の数学コンテストが実施されているそうです。『「解けそうで解け

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



◎文化学園大学杉並の「Play Labo」。入り口のホワイトボードには「この部屋で何ができているか」という文字がみえる。

ない問題』は『壊れにくい玩具』に似ていると思います」という数学の先生から出題された問題が廊下に掲示され、挑戦者を待っています。

普段着の生徒作品を見ることができると、校舎見学の楽しみのひとつです。これから皆さんがお出かけになる学校では、どのような“作品”が待っているのでしょうか。

教育プログラムとして機能する行事

公開行事に出かけたら、楽しむと同時に、当日までのプロセスに思いをはせたり、日ごろの学校生活とどのようにつながっているのかを考えてみたいものです。

●品川女子学院は文化祭をとおして、高等部の生徒が模擬店を株式会社として起業する「起業体験プログラム」を実施しています。事業計画、会社の登記に始まり、文化祭後には株主総会をして会社解散というプロセスを経験します。女性の一生涯を考えて28歳という年齢にフォーカスした「28project」を教育に落とし込んでいる同校らしい取り組みです。

一方、●神奈川学園のように、クラスやクラブの発表主体の文化祭もあります。テーマを決めてから調査、取材、まとめ、発表まで生徒自身が行います。じっくり落ち着いて見学する来場者が多く、ポスター前でプレゼンテーションする生徒とコミュニケーションしながらクラス毎の工夫を凝らした発表を楽しむ姿が見られます。

●開成の体育祭は、棒倒しの激しさがよく知られていますが、審判、救護、運営など全てを生徒が一年がかりで作ります。学園関係者が「本当は予行演習を見て欲しいくらい」というほど、フィールドに繰り広げられる競技を支える裏方の動きこそが

体育祭の真骨頂と考えているのです。文化祭実行委員が多額の資金を運用する●麻布の文化祭も、生徒の自治の精神が発揮される行事です。

そんな背景を思い浮かべながら行事を見ると、また違った見方ができるかもしれません。

教科の枠を超える試み

カリキュラムをみる時、授業時間数も気になるかもしれませんが、学びの深さにまで踏み込んで考えてみると、学校の個性が際立ちます。

今、私たちには、文系・理系に分けられない学際的な学びが必要になっています。授業では、複数の教科をまたぎ、教科の枠を超えた授業にも積極的に取り組む学校が少なくありません。

◎武蔵野東では、理科と数学による「運動とエネルギー」の実験と検証、体育と技術・家庭で「理想的なコンディションを作る食生活」というように、さまざまな発想から新しい試みが生まれています。●田園調布学園でも、数学と物理、技術家庭科と物理のような教科横断授業の試みが行われています。地学でプログラミング動画、倫理でコラージュ、国語で版画といった美術とのつながりは、STEAM教育の実践と言えるでしょう。●洗足学園では、総合学習が



絵画古典技法も学ぶ●共立女子は、図書室の美術技法に関する蔵書も豊富だ。図書



●女子聖学院と●聖学院は合同で、パラスポーツ応援プロジェクトに取り組んでいる。フェリチャーイルームでの講演やワークショップは盛り上がる。

教科横断的なプログラムとして行われています。

中学入試の4科目入試には4科目均等配点があります。その中でも均等配点に加え均等時間で実施する学校となると、●女子学院、●頌栄女子学院、●鎌倉女学院など、かなり少なくなります。このうち●鷗友学園は、2020年入試で4科とも50分から45分に短縮することが発表されました。試験時間と配点の4科均等は変わりません。このことは、同校が求める生徒像を「大学受験のための学習だけではなく、あらゆることに興味・関心を持つことができる生徒」としていることと深くつながる基本理念です。芸術系の大学へ進む卒業生が珍しくない、多様な進路にもうなずけます。女子学院でも、受験

科目に限らず、すべての科目を大切にしています。この学びがあることで、大学の途中で文系から理系への進路変更が叶った卒業生もいると言います。

命を考える独自のプログラムも、私学ならではの特徵でしょう。人生を考える●玉川聖学院の「総合科人間学」、生命の誕生を学ぶ●相模女子大学の「マーガレットタイム」などが挙げられます。また一般的に、ミッション校では、聖書を学ぶことが自然への畏怖を抱くことを導くと言われます。

●開成の柳沢校長先生は、「ボトムアップアプローチ」と「トップダウンアプローチ」という話をされることがあります。将来（トップ）から夢を実現するためなすべきことを考えていくのが「トップダウンアプローチ」。人生は長期的な視点で考えましょうというメッセージとして伝えられます。芝の進路指導も「逆算の進路指導」という考え方が根底にあります。

中高時代は、様々な可能性を考えるきっかけとなる体験ができる、貴重な時間です。アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーまで視野を広げ、学校の個性を“感じて”みましょう。選択肢を広く柔軟に考えられる受験のためにも、可能性にフタをしないで、学校へ足を運んでください。

***** 高校入試の内申書 *****

2021年度からスタートする新しい中学校学習指導要領は、「生きる力 学びの、その先へ」を謳い、「学びに向かう力、人間性など」「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」、3つの力をバランスよく育むことを目指しています。

内申書の評価の観点も、それに合わせて「主体的に学習に取り組む態度」「知識・技能」「思考・判断・表現」によるものとなる可能性があります。内申書に記載される中学校の成績が合否判定の資料とされるのが高校入試です。定期テストはもちろん、授業態度や課題の提出状況、さらに出欠席の状況など、評価は学校生活全般に及びます。

【校訓・教育理念の正解】

(い)◎かえつ有明、(ろ)●大妻、(は)●麻布、(に)◎三田国際学園、(ほ)●白梅学園清修、(へ)●芝、(と)●フェリス女学院など、(ち)●雙葉学園、(り)◎順天。

創立時の時代背景や現在とはどのような言葉に置き換えられているかなど、それぞれの言葉の奥にあるものを調べると、新たな気づきに出会えるかもしれません。

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校

2020年以降入試最新情報

7月号でも、「新タイプ入試・1科目入試の増加」「入試複数回化」「共学化」「中高一貫シフト」など、2020年入試情報をお伝えしましたが、その後も続々、変更点が判明しています。その中から抜粋して最新動向をお届けします。

【入試科目に関する変更】

- ◎**青山学院横浜英和**：入試当日に行っていた受験生グループ面接を廃止。なお横浜英和小学校も2020年4月1日より青山学院大学の「系属校」となる。
- ◎**浦和実業**：第2回適性検査で「適性検査Ⅰ:作文型、適性検査Ⅱ:科目複合型」に加え、「適性検査Ⅲ:数理志向型」を実施する。第1回適性検査は「適性検査Ⅰ:作文型、適性検査Ⅱ:科目複合型」。
- 鷗友学園**：2020年入試より4科目の試験時間を、従来の各50分から各45分に短縮する。問題量は9割程度に軽減。「受験生にどの教科でも実力を発揮し、最後まで集中して取り組んでほしい」と4科目均等配点（各100点満点）・均等時間は変えず。
- 佼成学園**：2月3日にSuper English入試を新設。
- ◎**栄東**：東大特待Ⅰも4科または算数1科の選択に。
- 相模女子大**：プログラミング入試の日程を2月13日にも追加。
- ◎**淑徳**：東大選抜も2科4科選択に変更。また英検等有資格者を対象とする英語入試（書類審査・算数・日本語作文・英語面接）を新設。
- 聖徳大学附属女子**：1月21日午後算数1科入試を新設。本校と本八幡（全日警ホール）の二会場で実施。
- ◎**西武文理**：2月5日午後は思考力入試に変更。
- 聖和学院**：英語入試は、英語型（日本語作文と、スピーチまたは筆記）・英語インタラクティブに加え、英語プログラミングも選択肢に。
- ◎**土浦日本大学中等**：11月16日に理数運用力入試を新設。
- 東京女子学園**：2月1日午後入試を算数1科に変更、2日午後にも算数1科入試を新設。
- ◎**東洋大牛久**：適性検査型、英語コミュニケーションスキル入試、総合型を実施。英語コミュニケーションスキル入試は、英語リスニング、英語スピーキング、日本語作文による。
- ◎**日本大学三島**：1月18日に学力選抜型入試を2科で新設。

◎**武蔵野**：2月1日に1科（国語または算数）とアクティブシートによる入試を新設。

●**盛岡白百合**：1月8日実施の首都圏入試は、午前4科（会場はAP品川と九段）に加え、首都圏入試Ⅱ（特待）として午後算数1科入試を実施（会場は九段の白百合学園ボーリアンホール）。

◎**八千代松陰**：1月21日入試を、「1科入試(国語・算数・英語より選択)」または「適性検査型入試」の選択とする。これまでは、2科(国語・算数)か3科(国語と算数は必須。理科・社会・英語より1教科選択)。

◎**横浜富士見丘**：日程により、従来の科目に加え英語4科（英国社理or英算社理）も選択可能とする。なお英語入試にリスニングを導入予定。

【帰国生入試新設】

◎**桜美林**：12月19日（木）に帰国生入試を、国語・算数、約15分の受験生個人面接で実施する。12月20日発表で、入学手続きは2月4日・5日の2日間。

●**品川女子学院**：12月14日（土）に帰国生入試を新設。国語（読解・作文）・算数と、10分程度の受験生個人面接（日本語）で実施する。発表は12月16日（月）、入学手続きは12月23日（月）まで。国語は2月4日の表現力総合型の試験Ⅱがベース、算数は2月1日・2日の大問1～3レベル。定員定めず。

【共学化・体制変更 等】

●**大妻多摩**：2020年度入学生より中2からの「国際進学クラス」を新設。2020年入試は、「総合進学入試」と「国際進学入試」を実施。「総合進学入試」で約110名募集。「国際進学入試」は英語を導入する入試で30名募集。

●**鎌倉女子大学**：2020年より国際教養コース・プログレスコース体制に。入試日程により4科、適性検査型（ともに英検による加点措置あり）のほか、全日程で受験可能な「書類重視型」や、特待生入試、帰国生入試（国際教養コース）を実施。

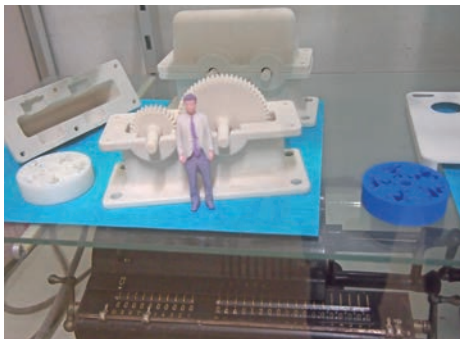
●**麹町学園**：2020年4月よりダブルディプロマプログラムが始動。ニュージージーランドの教育連携協定校への1年留学により、現地の卒業資格を取得する。またアイルランドの教育連携協定校への2年留学により、現地の卒業資格を取得するとともに帰国生枠での大学受験も可能となる。

●**芝浦工大附属**：2021年4月から中学も共学化。2017年より共学化した高等学校とあわせて、芝浦工業大学と連携したSTEAM教育を強化する。

◎**昭和学院**：「インターナショナルアカデミーコース（IA）」「アドバンスアカデミーコース（AA）」「ジェネラルアカデミーコース（GA）」募集。中3進級時に5コースに分かれる。2020年入試では、インターナショナルアカデミー入試での英語入試や新たな帰国生入試も導入する。

●**豊島岡女子学園**：2022年より高校募集停止する。2020（令和2）および2021年（令和3）年度の高次入学試験は従前通り90名募集で実施、中学募集は変更しない。

◎**日本工大駒場**：2021年より高校の工業科系学科の募集を停止（現中3が募集最終学年）。普通科専一校となる。



好きなことは人それぞれ。◎日本工大
 駒場の3Dプリンタによる生徒作品。